



Mitake  
Sayaka  
Salon

123  
Mitake Sayaka Salon (vol.78)

バッハを辿る  
vol.4

入川舜

<プログラム>

フレデリック・ジェフスキー：「不屈の民」変奏曲  
他

\*プログラム等は、やむを得ない事情により変更になる場合がございます。

2020年 **12月12日** (土) 14:30 開場/15:00 開演  
入場料：会員3,500円/一般4,000円/学生2,000円 (全席自由席)

バッハ、ベートーヴェンの変奏曲に継ぐ、  
現代音楽の超大作! 「不屈の民」変奏曲が今ここに——  
“団結した民衆は、決して敗れることはない”



●ご予約・お問い合わせ 株式会社 ILA (美竹清花さろん) 03-6452-6711 (平日 10:00-18:00)、070-2168-8484 (時間外可) Webサイト: <https://bit.ly/2Bso9Mz>

# バッハを辿る vol.4 入川舜

バッハ、ベートーヴェンの変奏曲に継ぐ、現代音楽の超大作!

「不屈の民」変奏曲が今ここに――

“団結した民衆は、決して敗れることはない”

123  
Mitake Sayaka Salon (vol.78)

2020年 12月12日(土) 14:30 開場/15:00 開演  
入場料: 会員3,500円/一般4,000円/学生2,000円(全席自由席)

## ジェフスキー:「不屈の民」変奏曲について

フレデリック・ジェフスキー(1938-)は、アメリカ合衆国生まれの作曲家、ピアニストである。現代音楽の作曲家だが、その音楽の背後には、しばしば社会的、政治的なテーマが表れている。

「「不屈の民」変奏曲」(1975年作曲)はジェフスキーの中でもとりわけ著名な作品だが、この変奏曲のテーマ(主題)は、当時チリの独裁政権に対する抵抗運動の中で生まれた革命歌「不屈の民」である。“団結した民衆は、決して敗れることはない”という歌詞を持ったソングが、抑圧された人々を鼓舞し、権力に立ち向かうための原動力となった。そのソングは3分ほどの短いものだが、ジェフスキーはこれを出発点にして、36の変奏曲を作った。

変奏の中には、単にテーマの展開のみならず、変奏同士の組み合わせも見られるし、全く新たなテーマ(それもまた、民衆がうたう歌)が展開されていく場面もあり、変奏曲というより、非常に壮大な物語絵巻のようだ。しかしその根底には、上に記した「不屈の民」の歌詞の精神が、一貫して流れている。

あるテーマを基に、変奏曲を作るというのは、クラシック音楽の歴史で伝統的な方法として用いられ、多くの名変奏曲が生み出されてきた。その中で、バッハの「ゴルトベルク変奏曲」は最も知られ、最も巨大なひとつだが、その系譜に連なる作品に、ベートーヴェンの「ディアベリ変奏曲」がある。「ゴルトベルク」は30の変奏、「ディアベリ」は33の変奏を持つが、その「ディアベリ」にインスパイアされて作られたのが、「不屈の民」なのだ。

「バッハを辿る」中で、今回は直接関係のない作品だが、ベートーヴェンを通してすることで、この変奏曲にもバッハとの関連が生まれてくる。そして、更に重要なのは、このプロテストソングが我々にとって、遠くない歴史と関連付くということだ。現代音楽で1時間を超えるというのは、決して易しい試みではないかもしれない。だが、この音楽が持っているエネルギーやスピリットといったものは、現代の私たちに痛切なものとして訴えかけるものがある。私たちは、互いに関連付くことに無関心だったり臆病だったりしないだろうか? と。(入川 舜)



ABA版画工房©

## 入川 舜(IRIKAWA Shun) Piano

静岡市出身。東京芸術大学音楽学部ピアノ科卒業、同大学院研究科修了。文化庁海外派遣研修員として、パリ市立地方音楽院とパリ国立高等音楽院修士課程でピアノ伴奏を学ぶ。

高瀬健一郎、寺嶋陸也、辛島輝治、迫昭嘉、A・ジャコブ、J・F・スーブルジュの各氏に師事。パリ・シャトレ座はじめフランス各地やスイスで演奏するほか、オーケストラとの共演、室内楽、コンクールや講習会での演奏、録音など、活発な活動を行っている。

「静岡の名手たち」オーディションに合格。神戸新聞松方ホール音楽賞、青山パロクザール賞(依田真直(Vn)、内田佳宏(Vc)両氏とのピアノトリオとして)を受賞。

日本人作曲家の作品を蘇らせたCD「日本のピアノソナタ選」をミッテンヴァルト社より発売。文化庁芸術祭参加作品となる。

2011年デビューリサイタルを開催。以後も、ドビュッシーのエチュード全曲など意欲的なプログラムでリサイタルを行う。ラヴェルアカデミー(フランス)にて歌曲クラスの伴奏助手。パリ市立地方音楽院でピアノ講師と伴奏ピアニストを務めた。

現在、オペラシアター・コンに在籍のピアニストを務める。渋谷・美竹清花さろんにて、「バッハを辿る」コンサートシリーズを進行中。東京芸術大学非常勤講師。

公式ホームページ:<http://shunirikawa.work/shun.html>



大ホールプラチナ席をしのぐ  
“美竹清花さろんという楽器”の中で  
味わう一期一会

世界に羽ばたく才能あふれる  
トップアーティストが続々と集結。

日本のトップクラスの若手演奏家が、  
こだわり抜いた価値ある企画をお届けしていきます。  
美竹清花さろんが追求する“本物の音楽”は、  
演奏者と参加者とわたしたちの、  
三位一体の努力と対話から生まれます。

大好評につき  
サロン・メンバーズ  
追加募集中!



誕生。  
クラシック音楽サロン、  
宮益坂、  
渋谷駅 徒歩2分



●お問い合わせ

株式会社 ILA (美竹清花さろん)  
東京都渋谷区渋谷1-12-8 (〒150-0002)  
☎ 03-6452-6711 (平日10:00-18:00)  
070-2168-8484 (時間外可)  
Fax 03(3409)0188

